

巻頭言

理事長再任にあたって

理事長 新谷 友良

5月の通常総会の役員選挙につづく理事会で、継続して理事長をやらせていただくことになりました新谷です。13名の理事、2名の監事の方と一緒に2年間頑張ってお参りますので、みなさまのご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。

協会は昭和61年の設立以来、平成14年のNPO法人化、平成25年の認定NPO取得と30年の歴史を積み重ねてきました。その間、多くの先輩や仲間の努力で、また協会を支援いただく多くの方のおかげで、現在の形に発展してきました。東京都の中途失聴・難聴者の数からいえば、決して満足できるものではありませんが、東京都の障害者団体として700名の会員数は多い部類の団体であり、一定の発言力と共に活動の社会的責任も求められていると思います。

認定NPO取得のときに何回か協会ニュースでも書かせていただきましたが、協会活動には仲間との交流・学びなどの場（共益）と、協会内外の聞こえに困っている人に共通する課題を見出してそれを解決する、必要があれば東京都や区市町村と話し合い施策に結びつける（公益）という二つの側面があると考えています。共益的な活動は主にサークルに担っていただき、公益的な活動は理事会・専門部が担うというのが大まかな役割分担です。そして大切なことは、どちらも協会員全員が主人公であり、協会員全員が平等に役割を担っているということだと思います。

サークル活動であれば、役員の方もメンバーの方も日ごろから一緒に活動されていますので、このことは容易に納得いただけるのではないかと思います。

そして理事会・専門部はサークルに比べると少し離れたところにありますが、同じように協会員が理事・専門部長になって活動していることを考えていただくと、理事会・専門部が身近な存在になるのではないかと思います。

今年の「東京都中途失聴・難聴者の集い」は30回という節目の開催になります。例年とは趣向を変えて、8月30日の夜、新宿の「京王プラザホテル」で開催されます。暑さも少し和らぐ夏の終わりに、久しぶりの仲間と会い、ゆったりとした気分で交流できる企画を考えています。是非、多くの人にご参加いただき、30年の振り返りとこれからの協会の姿を話し合えればと思います。